



卒後2年目 事例検討研修 ～実践につなげる事例検討～



卒後2年目60名が「卒後2年目事例検討研修～実践につなげる事例検討～」を受講しました。「患者との忘れられない場面」「心に残っている事例」についてグループワークを行いました。看護の知識に基づく視点から分析し、患者の理解を深め、看護の方策を検討しました。

キャリア支援教育担当、部署の教育担当者、副看護師長が助言者として参加し、学びを深めることができました。



さまざまな部署の同期と意見交換を行い、新たな視点からの学びや気づきを得ることができていました。



グループメンバーの看護実践を認めたり、事例の看護場面で感じた気持ちに共感したりする姿がありました。



日々の関わりから患者さんの全体像を捉えることや、患者さんの思い・価値観を尊重し看護につなげていくことが大切だと再認識していました。



全体会では、検討した事例の中から1つの事例を選び、各グループの学びを共有しました。患者さんと信頼関係を築いていくことの重要性など、多くの学びや具体的な看護の方策を見出すことができました。



研修者の声

～研修の学びから具体的に看護実践に活かせること～

患者さんの思いを聞き、共通認識を持って目標設定・計画立案・評価を行う。

患者さんの心理状態や受容段階に合わせたコミュニケーション、環境づくりを意識する。

患者さんの発言や行動の理由を日々考えながら関わるようにする。